

軽自動車

ターボ車はエンジンが酷使されているため 早めのエンジンオイル交換が必要です！

ターボチャージャーはエンジンと比較にならない回転（10万～20万回転）をしている上に、排気ガスにさらされているため700℃以上の高温になっています。オイルは、この冷却と潤滑、さらに軸のフルフロートベアリングの潤滑とクッションの役目をしています。ここで油膜が切れるとすぐにターボは破損します。ターボ車は粘度規定がありますので、指定のオイル粘度を使用してください。

ターボフィンの回転
10万～20万
回転/分

オイルの
経路

タービン部温度
700℃
以上の熱

タービン
ホイール

コンプレッサー
ホイール

フルフロート
ベアリング

ターボユニット
出口油温
200℃以上

軽自動車(ターボ)エンジンオイル交換サイクル

	通常時	シビアコンディション
スズキ	5,000km 又は 半年	2,500km 又は 3ヶ月
ダイハツ	5,000km 又は 半年	2,500km
トヨタ	5,000km 又は 半年	2,500km
日産	5,000km 又は 半年	2,500km 又は 3ヶ月
富士重工業	5,000km 又は 半年	2,500km
ホンダ	5,000km 又は 半年	5,000km 又は 半年
マツダ	5,000km 又は 半年	2,500km 又は 3ヶ月
三菱	5,000km 又は 半年	2,500km 又は 3ヶ月

200℃によるエンジンオイル燃焼試験

合成油は
燃え残り
が少ない

鉱物油は
燃え残り
が多い

合成油

鉱物油

ターボ車には燃え残りが少ない合成油がベスト!!

常に高温にさらされるターボ車には
高温に強いMobil 1™をおすすめします。

軽自動車(ターボ)には
Mobil 1™ 5W-30

合成油 API SN, ILSAC GF-5

